

付表-1 研修日程

年	月	日	曜日	内容	備考
1998	8	31	月	日本到着	8/31~9/4
	9	14	月	オリエンテーション・所内見学・インタビュー	TBICオリエンテーション
		16	水	開講式・ガイダンス・開講パーティー	9/7~9/11
	10	17	木	講義開始	TBIC日本語研修
		5	月	} 北海道・東北方面研修旅行	
	9	金			
	11	13	金	スポーツ・ミーティング	
		17	火	ジェネラル・ミーティング	
	12	1	火	} ESG国際シンポジウム (S・E)	
		3	木		
		18	金	国際親善パーティー	
		26	土	} 冬期休講	
		↓			
	1999	1	6	水	講義再開
7			木		
		25	月	} 関西方面研修旅行	
		↓			
		29	金		
2		5	金	スポーツ・ミーティング	
		19	金	ジェネラル・ミーティング	
3		19	金	個人研修説明会	
4		1	木	個人研修開始	
5		31	月	個人研修中間発表会	
7		14	水	} 個人研修最終発表会	
		↓			
		15	木	ジェネラル・ミーティング	
		16	金	建設大臣表敬訪問	
	21	水	個人研修論文提出		
	23	金	閉講式・閉講パーティー		
	25	日	帰国		

*TBIC：筑波国際センター

IISEE：建築研究所国際地震工学部

研修実施機関及び関係者

機 関 名	部 所	氏 名	住 所	電 話
建設省 建築研究所	所長	山崎 裕	〒305-0802 茨城県つくば市立原1	0298-79-0679 ~80
	国際地震工学部 部長	水野二十一		
	管理室長	熱田 義雄		
	研修庶務係長	中山 哲郎		
国際協力事業団 筑波国際センター	所長	橋本 明彦	〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-6	0298-38-1111 (代)
	次長	渡辺 正夫		
	研修課長	篠塚 征和		
	研修課長代理 担当	金子 健二 讓尾 進		
	研修監理員	大村 寿美 秋山 章代		

付表-2b

1998/1999	地震学コース講師名 (ABC順、職名は講義当時)
安藤 雅孝	京都大学防災研究所 教授
深尾 良夫	東京大学地震研究所 教授
Geller, R. J.	東京大学大学院理学系研究科 助教授
橋本 学	京都大学防災研究所 助教授
服部 定育	室蘭工業大学工学部 教授
井元 政二郎	防災科学技術研究所 室長
井上 公	防災科学技術研究所室長
入倉 孝次郎	京都大学防災研究所 教授
石橋 克彦	神戸大学都市安全研究センター 教授
石原 靖	横浜市立大学 助手
石川 有三	気象庁気象研究所 室長
岩崎 貴哉	東京大学地震研究所 助教授
上垣内 修	気象庁気象研究所 主任研究官
金子 史夫	応用地質(株)探査工学研究所 副所長
菊地 正幸	東京大学地震研究所 教授
衣笠 善博	工業技術院地質調査所 主席研究官
三浦 房紀	山口大学工学部 教授
西前 裕司	気象庁地震火山部 研究官
太田 賢治	応用地質(株)技術本部 部長
尾池 和夫	京都大学理学部 学部長
瀬野 徹三	東京大学地震研究所 教授
須藤 研	東京大学生産技術研究所 センター長
鈴木 保典	東京大学大学院理学系研究科 助手
高山 博之	気象庁地震火山部 主任研究官
竹中 博士	九州大学理学部 助教授
都司 嘉宣	東京大学地震研究所 助教授
山岡 耕春	名古屋大学理学部 助教授
山下 輝夫	東京大学地震研究所 教授
蓬田 清	北海道大学理学部 助教授

HSEEスタッフ

古川 信雄、横井 俊明、末次 大輔、芝崎文一郎、原 辰彦

1998/1999 地震工学コース講師名 (ABC順、職名は講義当時)

秋山	宏	東京大学工学部 教授
福井	次郎	土木研究所構造橋梁部 室長
福沢	栄治	鹿島建設(株)設計・エンジニアリング総事業本部 副本部技術長
浜田	和郎	(財)地震予知総合研究振興会地震調査研究センター 主任研究員
廣谷	彰彦	(株)オリエンタルコンサルタンツ 取締役国際事業部長
飯場	正紀	建築研究所第3研究部 室長
入倉	孝次郎	京都大学防災研究所 教授
石山	祐二	北海道大学工学部 教授
糸井川	栄一	建築研究所第6研究部 室長
壁谷澤	寿海	東京大学地震研究所地震火山災害部門 教授
上之蘭	隆志	建築研究所第4研究部 室長
神田	順	東京大学工学部 教授
河西	良幸	鹿島建設(株)技術研究所 室長
喜々津	仁密	建築研究所第3研究部 研究員
小長井	一男	東京大学生産技術研究所 助教授
許斐	信三	(株)日本設計九州支社 次長
古関	潤一	東京大学生産技術研究所 助教授
久保	哲夫	名古屋工業大学 教授
松尾	修	土木研究所耐震技術研究センター 室長
松島	豊	筑波大学構造工学系 教授
緑川	光正	建築研究所基準認証研究センター 国際基準研究官
南	忠夫	東京大学地震研究所 教授
三浦	房紀	山口大学工学部 教授
三浦	賢治	鹿島建設(株)小堀研究室 研究部長
西山	功	建築研究所第4研究部 室長
西山	峰広	京都大学工学部 助手
野口	博	千葉大学工学部 教授
野島	義照	(財)都市緑化技術開発機構
大井	謙一	東京大学生産技術研究所 助教授
大友	敬三	(財)電力中央研究所我孫子研究所 主任研究員
大塚	久哲	九州大学工学部 教授
塩原	等	東京大学工学系研究科 助教授
菅野	俊介	(株)竹中工務店技術研究所 主席研究員
菅野	高弘	運輸省港湾技術研究所構造部 室長
棚橋	一郎	(株)宅地開発研究所 顧問
田中	淳夫	宇都宮大学工学部 教授
田中	仁史	豊橋技術科学大学建設工学系 助教授
寺本	隆幸	東京理科大学工学部建築学科 教授

寺本 徹	土木研究所耐震技術研究センター 主任研究員
勅使川原 正臣	建築研究所第3研究部 室長
当麻 純一	(財)電力中央研究所我孫子研究所地震動 グループリーダー
運上 茂樹	土木研究所耐震技術研究センター 室長
和田 章	東京工業大学工業材料研究所 教授
渡部 丹	慶應義塾大学環境情報部 教授
山口 嘉一	土木研究所ダム部 主任研究員
山中 浩明	東京工業大学大学院総合理工学研究科 助教授
山田 恭央	筑波大学構造工学系 教授
山崎 文雄	東京大学生産技術研究所 助教授
山崎 淳	日本大学理工学部 教授

IISEEスタッフ

水野二十一、萩原 良二、大川 出、福山 洋、平出 務、鹿嶋 俊英、
 小山 信、箕輪 親宏

付表-3 研修員受け入れ実績

地 域 国 名	回	1~29	第1回	2	3	4	5	6	7	8	9	総合計
	年	累 計	平成元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
〈アジア地域〉 バングラデシュ	S	0										1
	E	1										
ミャンマー	S	2										17
	E	15										
インド	S	9									1	37
	E	26										
インドネシア	S	30	1				1		1	1	1	53
	E	13	1		1				1	1	1	
大韓民国	S	6	2				1				1	13
	E	3										
マレーシア	S	2										2
	E	0										
ネパール	S	2			1		1	1			1	17
	E	9		1					1			
パキスタン	S	19			1	1			1		1	29
	E	2	1				1	1			1	
フィリピン	S	30	1	1	1	1			1	1		64
	E	23	1	1			1	1	1			
タイ	S	20	1	1	1						1	25
	E	0					1					
ヴェトナム	S	0							1	1		3
	E	1										
中国 (含台湾)	S	7			1		1		1	1	1	20
	E	7				1						
モンゴル	S					1						2
	E									1		

研修員受け入れ実績

地 域 国 名	回 年	1~29	第1回	2	3	4	5	6	7	8	9	総 合 計
		累 計	平成元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
〈中近東地域〉 アフガニスタン	S	1										3
	E	2										
アリジェリア	S	0		1			1	1				12
	E	3	1	1	1	1			1	1		
エジプト	S	21	1	1	1	1	1	1	1	1	1	34
	E	0		1		1	1				1	
イスラエル	S	0										1
	E	1										
イラン	S	13				1		1			1	33
	E	13	1		1		1			1		
イラク	S	9										9
	E	0										
ジョルダン	S	2										2
	E	0										
レバノン	S	0										1
	E	1										
モロッコ	S					1				1		3
	E					1						
シリア	S								1			1
	E											
イエメン	S								1	1		2
	E											
チュニジア	S	1										1
	E	0										
トルコ	S	14					1	1		1	1	38
	E	17			1				1		1	

研修員受け入れ実績

地 域 国 名	回	1~29	第1回	2	3	4	5	6	7	8	9	総合計
	年	累 計	平成元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
〈アフリカ地域〉 エチオピア	S	0										15
	E	11		1					1	1	1	
ガ ナ	S	1										3
	E	1								1		
ギ ニ ア	S								1		1	2
	E											
ケ ニ ア	S							1				1
	E											
マ ラ ウ イ	S	0		1			1					2
	E	0										
ス ー ダ ン	S	1										1
	E	0										
タ ン ザ ニ ア	S	1										1
	E	0										
ザ イ ー ル	S	7		1	1		1	1		1		12
	E	0										
マダガスカル	S									1		1
	E											

研修員受け入れ実績

地 域 国 名	回	1~29	第1回	2	3	4	5	6	7	8	9	総 合 計
	年	累 計	平成元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
〈中南米地域〉 アルゼンティン	S	4							1			19
	E	11	1				1			1		
ボ リ ビ ア	S	13										14
	E	1										
ブ ラ ジ ル	S	2										3
	E	1										
チ リ	S	6										24
	E	13	1			1		1	1	1		
コ ロ ン ビ ア	S	4				1		1	1			24
	E	11		1	1	1	1	1			1	
コ ス タ リ カ	S	5										17
	E	8			1		1	1	1			
キ ュ ー バ	S											1
	E								1			
ド ミ ニ カ	S	0										1
	E	1										
エ ク ア ド ル	S	0		1								26
	E	23	1					1				
エル・サルヴァドル	S	6										12
	E	5					1					
グ ァ テ マ ラ	S	4										9
	E	4				1						
メ キ シ コ	S	5	1	1			1				1	24
	E	12		1	2							
ニ カ ラ グ ア	S	2	1	1								9
	E	3		1				1				
ペ ル ー	S	5	1		1	1						61
	E	43	2	2	1	1	1	1	1	1		
ヴェネズエラ	S	6	1									13
	E	4							1	1		

研修員受け入れ実績

地 域 国 名	回 年	1～29	第1回	2	3	4	5	6	7	8	9	総合計
		累 計	平成元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
〈オセアニア地域〉 西 サ モ ア	S	0			1							1
	E	0										
フ ィ ー ジ ー	S	2		1						1		5
	E	1										
パプア・ニューギニア	S	2										4
	E	1						1				
ト ン ガ	S										1	1
	E											
〈その他の地域〉 アイスランド	S	0										1
	E	1										
ア ル バ ニ ア	S	0			(1)							(3)
	E	0		(1)		(1)						
ブ ル ガ リ ア	S	2										2
	E	0						(1)				
フ ィ ン ラ ン ド	S	2										2
	E	0										
ギ リ シ ャ	S	6	1			1		1				10
	E	1										
ル ー マ ニ ア	S	0										1
	E	1										
マ ケ ド ニ ア	S											(1)
	E										(1)	
ユ ー ゴ ・ ス ラ ビ ア	S	2										7
	E	5										
カ ザ フ ス タ ン	S											(1)
	E										(1)	
集 団 合 計		575	21	20	18	17	20	19	22	21	19	752
個 人 参 加 合 計				1	1	1		1	0	0	2	6
総 合 計		575	21	21	19	18	20	20	22	21	21	758

注) () 内は個別研修員の当コース参加分

LIST OF PARTICIPANTS IN "SEISMOLOGY AND EARTHQUAKE ENGINEERING II"

平成10年度 地震工学Ⅱ(地震学)コース 研修員リスト

研修期間 : 1998年8月31日～1999年7月25日

受入機関 : 建設省建築研究所

No.	Country (国名)	Name (名前)	Present Post (現職・所属先)	Official Address (勤務先住所)
1	Bolivia ボリビア	Ms. Salomé Cristina Condori Machaca クリスティーナ D-98-06929	Analyst of Seismography & Geologist, Observatorio San Calixto サンカリスト地震観測所 地震観測官・地質学者	Indaburo N. 944 Bolivia
2	China 中国	Mr. Yao Yunsheng ヤオ D-98-05901	Senior Engineer, Seismological Bureau of Hubei Province 湖北省地震局 上級技師	Xiao Hongshan, Wuchang District, Wuhan 430071, P.R. China
3	Djibouti ジブティ	Mr. Ahmed Omar Ahmed オマール D-98-06050	Geophysical Researcher, Department of Hydrology and Hydrogeology, ISERST(Superior Research Institute of Scientific & Technical Studies) ISERST(上級科学技術研究所)水物理水地質部 地球物理学研究員	ISERST-Djibouti, P.O. Box 486, Djibouti
4	Egypt エジプト	Mr. Ali Kamel Abdel Fattah アリ D-98-06052	Researcher, National Research Institute of Astronomy and Geophysics (NRIAG) 国立天文学地球物理学研究所 研究員	11421 Helwan, Cairo, Egypt
5	Ghana ガーナ	Ms. Paulina Ekua Amponsah ポリーナ D-98-06245	Seismologist, Geological Survey Department 地質調査局 地震学者	P.O. Box M. 80, ACCRA, Ghana
6	Indonesia インドネシア	Mr. Sutrisno ストクリスノ D-98-06192	Assistant Researcher, Meteorological and Geophysical Agency 気象・地球物理庁 研究補助員	JL. Arrif Rahman Hakim No. 3, Jakarta 10430, Indonesia
7	Korea 大韓民国	Ms. Park, Sun-Cheon パク D-98-06592	Meteorological Assistant Researcher, Climate Division, Pusan Regional Meteorological Office 釜山地方気象台気候課 気象書記補	Pusan Regional Meteorological Office, Jga Taechung-dong, Jung-gu, Pusan, Korea
8	Nepal ネパール	Mr. Sudhir Rajaure スディール D-98-06326	Seismologist, Regional Seismological Centre 地方地震学センター	Birendranagar, Surkhet, Nepal
9	Tonga トンガ	Mr. Rennie Jegsen Vaiomounga レニー D-98-07063	Geotechnical Officer, Ministry of Lands, Survey and Natural Resources 国土・測量・天然資源省 地質工学担当官	P.O. Box 5, Nuku'alofa, Tonga
10	Turkey トルコ	Mr. Tolga Bekler トルガ D-98-06056	Research Assistant, Kandilli Observatory and Earthquake Research Institute, Bogaziçi University ボカジッチ大学カンディリ地震観測研究所 研究員補	81220 Çengelköy-Istanbul, Turkey
11	Zambia ザンビア	Mr. Eugene Chanda Kunkuta ユージン D-98-06224	Station Attendant, Geological Survey Department 地質調査局 職員	P.O. Box 50135, Lusaka, Zambia

LIST OF PARTICIPANTS IN "SEISMOLOGY AND EARTHQUAKE ENGINEERING II"

平成10年度地震工学II(地震工学)コース研修員名簿

研修期間：1998年8月31日～1999年7月25日
 受入機関：建設省建築研究所

NO	COUNTRY 国名	NAME 氏名	PRESENT POST 現職・所属先	OFFICIAL ADDRESS 勤務先住所
1	Algeria アルジェリア	Mr. <u>NAÏLI Mounir</u> ムニール	Research Engineer National Center of Applied Research in Earthquake Engineering 国立地震工学応用研究センター 研究員	Rue Kaddour Rahim Prolongee, BP 252, Houssein-Dey, Alger, ALGERIE
2	Colombia コロンビア	Mr. <u>Gustavo Enrique ESCORCIA CONTRERAS</u> グスタボ	Director O.V.B.B. Interventoria Torres de San Juan O V B B社 部長	Calle 38 #32-41, Oficina 1304, Villaviencio, Meta, COLOMBIA
3	Costa Rica コスタリカ	Mr. <u>Alfredo GONZALEZ FONSECA</u> アルフレド	Project Engineer Franz Sauter & Asociados, S.A. Franz Sauter & Asociados株式会社 技術者	Edificio Alvmnar, 4° Piso, B0. Dent, San Jose, Apartado 6260-1000
4	El Salvador エルサルバドル	Mr. <u>Walter Mauricio SALAZAR GUERRA</u> フルター	Researcher and Lecturer Universidad Centroamericana Jose Simeon Canas "UCA" 中央アメリカ大学 研究員・講師	Autopista Sur, San Salvador, A.P. (01)168, EL SALVADOR
5	India インド	Mr. <u>Achal Kumar MITTAL</u> ミッター	Scientist Central Building Research Institute 中央建築研究所 研究員	Structural Engineering Division, CBRI, Roorkee-247667, INDIA
6	Indonesia インドネシア	Mr. <u>Marjoko HADI</u> マルヨコ	Researcher Research Institute for Human Settlements 公共事業省人間居住研究所 研究員	Jl. Panyawungan, Cileunyi Wetan, Kabupaten Bandung, West Java, INDONESIA
7	Iran イラン	Mr. <u>Mohammad HAJI SOTOUDEH</u> ハジ	Professor and Group Chief Power and Water Institute of Technology エネルギー省水力技術研究所 教授・研究班長	I. R. Tehran, B. P. 16765-1719, IRAN
8	Nicaragua ニカラガ	Ms. <u>Ingrid Carolina MARTINEZ VALERIO</u> イングリッド	Assistant Professor Universidad Nacional de Ingenieria (U.N.I.) 国立工科大学 講師	De Los Semaforos De La Radio, "YA", 1 Coadra Al Lago, NICARAGUA
9	Pakistan パキスタン	Mr. <u>Ejaz HUSSAIN</u> エジャーズ	S.E. WASO Pakistan Atomic Energy Commission パキスタン原子力エネルギー委員会 研究員	P.O. BOX 1998, WASO, PAEC, Islamabad, PAKISTAN
10	Romania ルーマニア	Mr. <u>Cristian Vasile ARION</u> クリスティアン	Engineer Technical University of Civil Engineering, Bucharest ブカレスト土木工科大学 研究員	124 Lacul Tei, Bucharest, 72302-ROMANIA
11	Tonga トンガ	Mr. <u>Seventeen TOUMOUA</u> セブンティーン	Chief Engineer Ministry of Works 労働省 主任技師	P.O. Box 52, Nuku'alofa, TONGA

付表-5 平成9年度応募状況表

	割 当 国	応募者数	受 入 数	備 考
1	インドネシア	5	2	地震学、地震工学、3名は定員オーバー
2	フィリピン	0	0	
3	中 国	1	1	地震学
4	大韓民国	1	1	地震学
5	インド	2	1	地震工学、1名は定員オーバー
6	ネパール	1	1	地震学
7	パキスタン	4	1	地震工学、3名は定員オーバー
8	ヴァヌアツ	0	0	
9	パプア・ニューギニア	1	0	研修内容不一致
10	トンガ	2	2	地震学、地震工学
11	コスタ・リカ	1	1	地震工学
12	グアテマラ	0	0	
13	メキシコ	1	0	研修内容不一致
14	ニカラグア	1	1	地震工学
15	エクアドル	0	0	
16	チリ	1	0	来日中止
17	ペルー	0	0	
18	コロンビア	2	1	地震工学、1名は定員オーバー
19	エル・サルバドル	1	1	地震工学
20	ボリヴィア	1	1	地震学
21	イラン	1	1	地震学
22	トルコ	3	1	地震学、2名は定員オーバー
23	エジプト	2	1	地震学、1名は定員オーバー
24	エチオピア	0	0	
25	ジブティ	1	1	地震学
26	ガーナ	2	1	地震工学、1名は定員オーバー
27	ザンビア	3	1	地震学
28	アルジェリア	2	1	地震工学、1名は定員オーバー
29	タンザニア	1	0	研修内容不一致
30	ルーマニア	1	1	地震工学(個別一般)
	合 計	41	22	内個別1名

平成10年度

(第12回)

地震工学セミナーコース
研修実施要領

平成10年5月

国際協力事業団
筑波国際センター

目 次

1. コー ス 名 等	173
2. コースの目的・背景	173
3. 到 達 目 標	174
4. 研修項目・研修方法	174
5. 研修員参加資格要件	174
6. 研修実施体制及び運営	175
7. 研修・宿泊施設等	175
8. 研修教材・資機材	175
9. 研修付帯プログラム	176
10. 研 修 の 評 価	176
11. 研 修 員 の 待 遇	177
10. そ の 他	177
付表-1 研修プログラム	178
付表-2 関係者リスト	179
付表-3 講師名簿	180
付表-4 研修員名簿	181
付表-5 国別年度別受入実績表	183
付表-6 平成10年度応募状況	184

1. コース名等

(1) コース名

(和文) 地震工学セミナー

(英文) SEMINAR ON SEISMOLOGY AND EARTHQUAKE ENGINEERING

— Earthquake Disaster Mitigation in Urban Area —

(2) 研修期間

平成10年5月11日から平成10年6月19日まで

(3) 定員

12名

(4) 受入研修機関

建設省建築研究所

2. コースの目的・背景

(1) コースの背景

世界的に都市化が進む中、世界の地震帯に位置する国々にとって、地震災害の軽減防止は国民生活の安定、社会基盤の整備、経済的な発展を図る上で極めて重要な課題である。

こうした状況の下で地震学分野の研究は急速に進歩し地震災害防止への努力が続けられているところ、開発途上国の地震工学専門家に対しその最新情報・知識・技術を紹介し、また各国における当該分野の現況について意見交換を行うことは、地震災害軽減への道を広げ、引いては開発途上国の発展を支えることとなり、大きな意義を持つと考えられる。

本コースは上記ニーズに対応すべく昭和54年度に設立され、以来研修内容の改善を重ねながら毎回異なるテーマを設定し、ほぼ隔年のペースで実施されてきており、今回で第12回目を迎える。

本年度は1990年度に開始した国連の国際防災10年事務局が実施するRADIUS (Risk Assessment Tools for Diagnosis of Urban Areas against Seismic Disasters)プロジェクトのケーススタディ対象都市の地震防災研究機関研究者を対象として実施する。

(2) コースの目的

本コースは既に集団研修「地震工学」コースに参加し地震学についての研修を受けた者、または他の研修参加等により同等の知識を有する地震工学専門家を対象としているが、本年度は、国連防災10年事務局が実施するRADIUSプロジェクトとの連携の下、同プロジェクトケーススタディ対象都市の地震防災研究機関研究者を対象に、日本及び各国における最新の地震観測技術、建築物の耐震設計技術、及び都市防災技術等を紹介することにより、その知識を刷新し、もって自国における地震災害対策技術の向上、並びに同プロジェクトの目的である都市及び住宅の震災時の被害想定マニュアルの作成に

資することを目的としている。

3. 到達目標

日本及び参加各国における都市の地震被害例及びその対策手法等を考察し、また最新の耐震建築技術、都市防災システム等に関する情報を収集または意見交換することにより、総合的な観点より、適確な都市地震災害軽減対策の計画ができるようになる。

4. 研修項目・研修方法

(1) 講義

- ・都市における地震被害の特徴と教訓
- ・建築物の耐震設計・耐震性診断・補強（RC構造／橋梁等）
- ・地質による地震災害とその対策
- ・ライフラインの被害とその対策
- ・都市防災計画
- ・地震被害想定

(2) 研修旅行，見学

神戸方面の研修旅行および東京都防災センター見学を実施する。

5. 研修員参加資格要件

(1) 人選方法及び選考基準

参加希望国政府がGeneral Information（応募案内書－以下「G.I.」という。）に応じて提出した推薦要請書類（A2A3 Form）に基づき、国際協力事業団筑波国際センターと建設省建築研究所の関係者が、G.I.に記載の研修員参加要件を基準として、協議し人選を行う。

(2) G.I.に記載の参加資格要件は次のとおり。

- ① 応募者在国政府からの推薦を受けた者
- ② 大学卒または同等の資格を有する者で、地震工学分野で5年以上の経験を有し、また現在構造デザイン・解析・地震危険度評価に関わっているもの。
- ③ 英語の読み書きに十分通じていること。
- ④ 30才以上50才以下の者
- ⑤ 軍に属していない者
- ⑥ 心身ともに健康で、支障なく研修生活を送ることができる者であること。

* 国連RADIUSプロジェクトケーススタディ対象都市におけるケーススタディ担当機関研究者は優先的に本研修に参加できるものとする。

(3) 応募割当国

17ヵ国

インドネシア, 中国, ネパール, ドミニカ共和国, メキシコ, アルゼンチン, チリ, コロンビア, エクアドル, トルコ, エジプト, エチオピア, ルーマニア, マケドニア, ブルガリア, ウズベキスタン, グルジア

6. 研修実施体制及び運営

- (1) 本研修コースの運営は、建設省建築研究所と国際協力事業団筑波国際センターが協力・協議のうえ実施運営する。
- (2) 国際協力事業団は、研修業務が円滑に行われるために業務調整と必要な場合の通訳業務を行う研修管理員を配置する。

7. 研修・宿泊施設等

使用する研修施設・宿泊施設は次のとおり。

(1) 研修施設

建設省建築研究所国際地震工学部

〒305-0802 茨城県つくば市立原1

Tel : 0298-64-2151 (代)

(2) 宿泊施設

筑波第一ホテル

〒305-0031 茨城県つくば市東一丁目

Tel : 0298-52-1112

8. 研修教材・資機材

使用する研修教材・研修資機材は次のとおり。

(1) 研修教材

参加者が持参するカントリーレポート, 各講師が作成したレクチャーノート, OHP, スライド, ビデオ等を使用する。

(2) 研修資機材

- ① パーソナルコンピュータ等効果的な研修用資機材を使用する。
- ② 受入研修機関の資機材を必要な範囲内において利用する。

9. 研修付帯プログラム

本コースのため次の研修付帯プログラムを実施する。

(1) 来日指定日 平成10年5月11日(月)

(2) 集合ブリーフィング(1日間)

来日時、事務手続、滞在諸手当の支給手続、日常生活の一般留意事項等について集合ブリーフィングを原則として来日の翌日に実施する。

(3) プログラムオリエンテーション(1日以内)

技術研修の開始に先立ち、コース目的、日程、内容、方法等につき説明のうえ周知徹底をはかり、あわせて研修員の要望等を聴取し、実施・運営の円滑化をはかるため、オリエンテーションを実施する。

(4) 日本語一般コース(夜間)

研修員の滞日生活の充実および日本文化の理解を深めるため、週2回程度の日本語一般コースを可能な限り実施する。

(5) 厚生行事

筑波国際センター及び建築研究所が実施する日本文化紹介、パーティー、その他の厚生行事に可能な限り参加させる。

10. 研修の評価

(1) 本コースの評価は次のようにして行う

① 研修員記入のアンケートの数量的分析に基づき、研修員との討論形式により行う。

② 上記の評価会には研修員・受入研修機関関係者及び筑波国際センター業務課関係者が出席して評価を行う。

③ 最終評価は次期研修のカリキュラム改善を目的として行い、研修終了数日前に、コースの目的、カリキュラム、レベル、教え方、研修員の習得の度合い等について研修員より回答を得た資料(Questionnaire for Future Programmes)に基づいて行う。

(2) 反省会

研修終了後、研修実施関係者と会合をもち、上記評価会の結果を参考として、本年度のコース内容、運営体制等について検討し、次年度以降のコース運営の改善を行う。

(3) 研修実施報告書の作成

上記(1)～(2)を参考として、事業団担当者が本コース実施に係る事項を研修実施報告書にまとめる。

11. 研修員の待遇

(1) 入国資格

日本で技術研修を受けるために来日する者（通常、入国査証コードは研修であり、留学生とは完全に区分される。）

なお、日本滞在中は、日本国法令の適用をうける。

また、働いて収入を得ることはできない。

(2) 滞在費

国際協力事業団の規定に基づき、日本国政府から本コースの研修員に滞在費用その他が支給される。

イ. 各国の国際空港～東京間の往復チケット

ロ. 事業団指定ホテルにおける宿泊の他、規程に基く生活費その他が支給される。

ハ. 日本に到着後、発生した傷病に対する医療費。

ニ. 研修旅行に伴う費用

(3) 修了証書

このコースを修了した者に対し、国際協力事業団は修了証書を発給する。

12. その他

研修監理報告書

研修終了後、研修監理員は研修監理報告書をまとめ筑波国際センターへ提出する。

研 修 プ ロ グ ラ ム

(研修期間：平成10年5月11日～6月19日)

1998 地震工学セミナー日程表

1998/5/8

月	火	水	木	金	土	日
11 オリエンテーション (JICA)	12 オリエンテーション (JICA)	13 閉講式 オリエンテーション インタビュー (IISEE)	14 地震工学における 国際協力(片山) 都市における地震 被害の特徴(岡田) ウェルカムパーティ	15 オーストラリア、 第四紀地質、 活断層(衣笠)	16	17
18 震源過程、 波動理論(横井)	19 地盤評価(山中)	20 ESG(川瀬)	21 強振動地震学 (入倉)	22 ハードマップ、 マイクロゾーン (入倉)	23	24
25 建築物の耐震設計・ 診断・補強(RC) (菅野)	26 建築物の耐震設計・ 診断・補強(S) (西山)	27 建築物の耐震設計・ 診断・補強 (木、粗石等) (緑川、他)	28 土木構造物の耐震 設計・診断・ 補強(橋) (川島)	29 ライフライン 地震工学 (山崎)	30	31
6/1 地震災害(佐々木) 建物基礎の被害と 挙動(時松)	2 東京都防災センター 見学 神戸へ移動 (神戸泊)	3 人的被害、まちづく り(大西) (於神戸大) (神戸泊)	研 修 旅 行		6 京都観光 帰途	7
8 地震火災(堀越) 都市防災政策 (西岡)	9 について (Scott Lawson)	10 日本の被害想定 手法 (金子)	11 津波(首藤) 大規模崩壊(田中)	12 イスタンブールの 地震防災 (Mustafa Erdik)	13	14
15 東京都の地震被害 想定(熊谷) コンピュータによる 簡易型地震被害想定 (座間) 都市レポート	16 キーノトレクチャー (INCEDE,GHI, BRGM) 都市レポート	17 キーノトレクチャー (岡崎) 都市レポート	18 閉講式 GM パーティ	19	20	21

関係者リスト

機 関 名	部 署	氏 名	住 所	電 話
建設省 建築研究所	所 長 国際地震工学部 部 長 第一耐震工学室長 管理室長 研修庶務係長	山 崎 裕 水 野 二十一 大 川 出 熱 田 義 雄 松 居 孝 道	〒305-0802 茨城県つくば市 立原1	0298-64-2151(代)
国際協力事業団 筑波国際センター	所 長 業務第一課長 業務第一課長代理 業務第一課担当	橋 本 明 彦 篠 塚 征 和 金 子 健 二 讓 尾 進	〒305-0074 茨城県つくば市 高野台3-6	0298-38-1111(代) FAX 38-1790

講 師 名 簿

<氏 名>

<所 属>

片山 恒雄	科学技術庁防災科学技術研究所 所長
田中 耕平	同研究所 室長
岡田 恒男	芝浦工業大学工学部建築工学科 教授
衣笠 義博	通商産業省工業技術院地質調査所 主席研究官
西岡 誠治	建設省都市局都市再開発防災課都市防災専門官
横井 俊明	同省建築研究所国際地震工学部応用地震工学室 室長
西山 功	同研究所第4研究部住宅建設研究室 室長
向井 昭義	同研究所第3研究部耐震研究室 室長
川島 一彦	東京工業大学工学部 教授
山中 浩明	同大学大学院総合理工学研究科 助教授
時松 孝次	同大学工学部建築学科 教授
川瀬 博	清水建設(株)和泉研究室 主任研究員
入倉 孝次郎	京都大学防災研究所教授
菅野 俊介	竹中工務店(株)技術研究所基礎研究部 部長
山崎 文雄	東京大学生産技術研究所 教授
佐々木 康	広島大学工学部建設工学 教授
塚越 功	慶應義塾大学政策メディア研究科 教授
金子 史夫	応用地質(株)地盤工学研究所 副所長
大西 一嘉	神戸大学国際文化学部建築造形講座 助教授
首藤 伸夫	岩手県立大学総合政策学部 教授
熊谷 良雄	筑波大学社会工学系 教授
座間 信作	自治省消防庁消防研究所第三研究部地震防災研究室 室長
Dr. Scott Lawson	Risk Management Solutions, Inc. Vice President, Risk Engineering Services
Dr. Carlos A. Villacis	Geohazard International, Stanford Univ. Technical Director
Mr. Philippe Masure	BRGM, Head Office
Mr. Kenji Okazaki	IDNDR Secretariat, Senior Expert
Dr. Rajib K. Shaw	OYO International Consulting Div.
Prof. Mustafa Erdik	Dept. of Earthquake Engineering, Bogazici Univ.

以上 順不同

LIST OF PARTICIPANTS IN "SEMINAR ON SEISMOLOGY AND EARTHQUAKE ENGINEERING"
(平成10年度 地震工学セミナーコーソース研修員リスト)

研修期間：1998年5月11日～1998年6月19日
受入機関：建設省建築研究所

No	Country 国名	Name 名前	Present Post 現職・所属先	Official Address 勤務先住所
1	Argentina アルゼンチン	Mr. Aldo Carlos Zaragoza (D-98-00778)	Professor and Researcher Faculty of Engineering San Juan National University サンホアン大学 工学部 教授/研究員	Av. Libertador 1210 (0) 5400 San Juan ARGENTINE
2	Bulgaria ブルガリア	Ms. Antoaneta Dineva Kaneva (D-98-01048)	Research Engineer Central Laboratory for Seismic Mechanics and Earth- quake Engineering 地震力学・地震工学中央研究所 研究技師	1113 Sofia P.O. Box 55 BULGARIA
3	Chile チリ	Mr. Patricio Enrique Tapia Gutierrez (D-98-01059)	Professor Civil Engineering Department Universidad Catolica del Norte ノルテ・カトリック大学 土木工学部 教授	Avda. Angamos 0610 Antofagasta CHILE
4	China 中国	Mr. He, Yu-Lin (D-98-01964)	Associate Professor Earthquake Engineering Seismological Bureau of Sichuan Province 四川省地震学局 地震工学部 助教授	No. 29 Sec. 3, Renminnan Road Chengdu 610041 CHINA
5	Colombia コロンビア	Ms. Ana Campos Garcia (D-98-01197)	Seismic Project Coordinator Corporation Autonomia Regional de Risaralda (CARDER) リサルダ地域自治公社 地震プロジェクト調整官	Calle 25 No. 7-48 Piso 13 Pererira COLOMBIA
6	Dominican Republic ドミニカ共和国	Mr. Emilio Euripides Cruz Herasme (D-98-00905)	1. Structural Engineer, working for IPSA (Indepen- dent Consultant) for Several Construction Companies 2. Professor, Univ. of INTEC 1. I P S A (建設コンサルタント会社) 構造工学技師 2. INTEC 大学 教授	Avenida de los Profesores Apdo. 342-9 Santo Domingo DOMINICAN REPUBLIC
7	Ecuador エクアドル	Mr. Walter Vicente Mera Ortiz (D-98-01268)	Dean Faculty of Engineering Universidad Catolica de Guayaquil グアヤキル・カトリック大学 工学部 部長	Ave. Carlos Julio Arosemena Km 1.5 Guayaquil ECUADOR
8	Egypt エジプト	Mr. Mohamed Mohamed Ezzat Sobih (D-98-04254)	Professor Structural Engineering Department Faculty of Engineering, Cairo University カイロ大学 工学部 構造工学科 教授	Giza EGYPT

No	Country 国名	Name 名前	Present Post 現職・所属先	Official Address 勤務先住所
9	Ethiopia エチオピア	Mr. Fekadu Kebede Alamneh (D-98-00473)	Associate Professor Geophysical Observatory, Faculty of Science Addis Ababa University アディスアババ大学科学部 地球物理学研究所 助教授	P.O.Box 1176 Addis Ababa ETHIOPIA
10	Georgia グルジア	Mr. Zurab Javakhishvili (D-98-00902)	Head, Dep. of Regional Seismology Institute of Geophysics Academy of Sciences of Georgia グルジア科学院 地球物理学研究所 地域地震学部長	Alexidze Str.1 Tbilisi 380093 GEORGIA
11	Indonesia インドネシア	Mr. I Wawan Sengara (D-98-01054)	Lecturer and Researcher Civil Engineering Dep., Bandung Inst. of Technology バンドン技術研究所 土木工学部 講師/研究員	Jalan Ganesha 10 Bandung 40132 INDONESIA
12	Macedonia マケドニア	Mr. Zoran Milutinovic (D-98-00735)	Head, Section on Risk and Disaster Management (RDM) Inst. of Earthquake Engineering and Engineering Seismology, Univ. of St. Cyril and Methodius 聖キリル・メソジスト大学地震工学研究所災害管理室長	Salvador Aliende 73 POB 101,91000 Skopje REPUBLIC OF MACEDONIA
13	Mexico メキシコ	Mr. Ernesto Rocha Guerrero (D-98-00785)	Engineer Centro de Investigacion Cientifica y de Educacion Superior de Ensenada (CICESE Research Centre) 科学・教育研究センター (C I C E S E) 技師	KM. 107 Carretera Ijuana-Ensenada Ensenada, B. C. CP. 22860 MEXICO
14	Nepal ネパール	Mr. Jitendra Kumar Bothara (D-98-05039)	1. Consultant Structural Engineer National Society for Earthquake Technology-Nepal 2. Kathmandu Valley Earthquake Risk Management 1.ネパール国立地震学技術協会 構造工学顧問技師 2.カトマンス盆地地震危険度管理プロジェクト 技師	Kha 2-731 Mahadeosthan Panshwor Kathmandu-10 P.O.Box-13775 NEPAL
15	Romania ルーマニア	Mr. Dan Maniu Lungu (D-98-01266)	Director Dep. of Civil Engineering Technical Univ. of Civil Engineering, Bucharest ブカレスト土木工学大学 土木工学部長/教授	124 Lacul Tei. Bucharest 72302 ROMANIA
16	Turkey トルコ	Ms. Behiye Fugen Selvitopu (D-98-00491)	Director Construction Dept. Izmir Metropolitan Municipality イズミール市役所 建築部 部長	Konak Izmir TURKY
17	Uzbekistan ウズベキスタン	Mr. Bakhtier Nurtaev (D-98-01203)	Head of Applied Geophysics Laboratory Inst. of Geology and Geophysics Academy of Sciences of Uzbekistan ウズベキスタン科学院 地球物理地質学研究所 応用地球物理学研究室長	Tashkent 700041 Khodjibaeva 49 UZBEKISTAN

付表-5

国別年度別受入実績表

	昭和 54年度	56	58	60	62	63	平成 元年度	3	4	6	8	計
(アジア)												
ミャンマー						1						1
中国				1					1	1		3
大韓民国						1	1					2
インド	1	1				1					2	5
インドネシア	1		2	1	1		1		1	1		8
ネパール					1	1		1		1		4
パキスタン								2	1			3
フィリピン	1	2		1	1	1	2		1	2		11
タイ						1	1			1		3
マレーシア												1
(中近東)												
エジプト	1	1	2	1	1	1	1	1	1		2	12
イラン	1					1			1			3
イラク			1		1							2
トルコ	1			1		1		1	1	2	1	8
イエメン											1	1
(アフリカ)												
アルジェリア						1		1	1			3
エチオピア						1						1
ウガンダ											1	1
(中南米)												
キューバ											1	1
アルゼンティン	1		2			1		3				7
ボリビア		2										2
チリ		1		1	2	1		1	1	1		8
コロンビア						1		1	1		1	4
コスタ・リカ			2			1						3
エクアドル	1					1						2
エル・サルヴァドル								2				2
グアテマラ				1				1				2
メキシコ			1	1	2	1	1				1	7
ペルー	2	1	1	1	2	1		2	1	1	1	13
ヴェネズエラ				1		1						2
ドミニカ共和国											1	1
(ヨーロッパ)												
ギリシャ					1	1		1	1			4
ユーゴ・スラビア					1	1						2
(オセアニア)												
フィジー							1					1
西サモア							1					1
計	10	8	11	10	13	21	10	17	12	10	12	134

付表-6

平成10年度応募状況

	割当国	応募者数	受入数	備考
1	中 国	1	1	
2	ネ パ ー ル	2	1	定員オーバー
3	イ ン ド ネ シ ア	2	1	定員オーバー
4	ウ ズ ベ キ ス タ ン	3	1	定員オーバー
5	グ ル ジ ア	1	1	
6	エ ジ プ ト	4	1	定員オーバー
7	ト ル コ	1	1	
8	エ テ ィ オ ピ ア	1	1	
9	ア ルゼンチン	2	1	定員オーバー
10	チ リ	1	1	
11	コ ロ ン ビ ア	6	1	定員オーバー
12	ドミニカ共和国	1	1	
13	メ キ シ コ	2	1	定員オーバー
14	エ ク ア ド ル	2	1	定員オーバー
15	ブ ル ガ リ ア	2	1	定員オーバー
16	ル ー マ ニ ア	1	1	
17	マ ケ ド ニ ア	2	1	定員オーバー
	計	34	17	

